

実家庭配付

思いやり通信



仙台市立黒松小学校
令和3年12月1日
第13号

授業参観日の校長あいさつ

11月17日、3・4年生の授業参観と懇談会がありました。学級懇談会の前には保護者の皆様に向けて、テレビ放送による「校長あいさつ」も実施されました。児童の日頃の様子や協同型学校評価の重点目標等に加えて、いじめについて言及した場面もございましたので、一部抜粋して紹介させていただきます。

(授業参観・懇談会 「校長あいさつ」より抜粋)

さて、先週仙台市いじめ実態調査を行いました。保護者の皆さまの協力の下、ほとんどのご家庭からアンケートの回収が終了しております。今回、新たに確認した事案につきましては、複数の教員で直接聞き取りを行い、保護者の方々に連絡した上で適切に対応して参ります。

いじめには相手が嫌だと分かっている故意のいじめと、相手が嫌な思いをしているということが分からない無自覚ないじめとがあります。学校といたしましてはどちらのケースにおいても今申し上げたような基本例に沿って対応して参ります。現在、アンケート結果を集計しているところでございますが、子供同士のけんかを、いじめというよりは、だれもが通る人間関係のトラブルであり、成長の糧と捉えているご家庭も多いことがうかがえました。これは、我が子の成長だけではなく、どの家庭の子供も同じように温かく見守っていききたいという保護者の方々の願いと意識の高さと考えております。

親としては何のトラブルもなく、いつも友達と仲良く過ごしてほしいと思うでしょうが、子供たちが健全に成長していくためには、失敗はつきものです。親が先回りをして子供に失敗させないようにする気持ちも分かりますが、子供が自分で答えをひねり出す、思考の場面こそ実はとても大切なのです。引き続きお子様を辛抱強く見守っていただきますようよろしくお願いいたします。



仙台市いじめ実態調査

前回の思いやり通信でもお伝えしましたが、先月、「仙台市いじめ実態把握調査」を実施いたしました。保護者の皆様のご協力の下、全校児童から調査用紙を回収することが出来ました。本調査の趣旨にのっとり、いじめの現状や児童の状況を的確に把握し、いじめの予防及び早期発見、早期対応に努めて参りたいと思います。

調査には「つらいことや困ったことがあったときに周りの大人の人にしてほしいことはありますか。自由にかいてください。」という質問もありました。参考までに回答を掲載したいと思います。

- ・相手にしっかり厳しく注意してほしい
- ・相談しやすい雰囲気できてほしい
- ・いじめられたら解決してほしい
- ・いじめた人を叱ってほしい
- ・話を聞いてほしい
- ・自分から言うまでそっとしておいてほしい
- ・励ましてほしい
- ・心の中にあまり足を踏み入れすぎないようにしてほしい。
- ・ヒントがほしい
- ・親と先生とで話をして解決してほしい
- ・助けがほしい
- ・すぐに対応してほしい
- ・いじめた理由など、納得するまで話し合った上で「あやまって」と言ってほしい

当たり前のようですが、児童一人一人の個性やいじめの状況によって、我々大人に求められる要求は様々です。時に「そっとしておいてほしい。」時に「じっくり話を聞いてほしい。」と願う児童のニーズに合わせて、私たち大人はアンテナを高くし、適切な対応を選択していかなければなりません。このことを肝に銘じて、いじめのサインを見逃さないようにしていきたいと思います。



避難訓練で校長先生のお話を熱心に聞き入る子供たち